

奈良県立医科大学附属病院 奈良県ドクターへリ

Doctor Heli



公立大学法人
奈良県立医科大学

NEUM

奈良県立医科大学附属病院
高度救命救急センター

Nara Medelial University, Department of Emergency and Critical Care Medicine.

Doctor Heli



Point!
Doctor
Heli

ドクターへリとは

ドクターへリとは、救急処置を必要とする重篤な患者さんが発生した現場などに救急医療に精通した医師・看護師を派遣することを目的とする、初期治療に必要な医療機器と医薬品を搭載した救急専用のヘリコプターです。ドクターへリは、単なる患者搬送手段ではありません。現場に医療チームが出向くことで、初期治療開始までの時間を大幅に短縮することができます。さらに、患者さんの状態を安定させ高度医療機関に迅速に搬送することにより、救命率の向上や後遺障害の軽減等の効果が得られます。

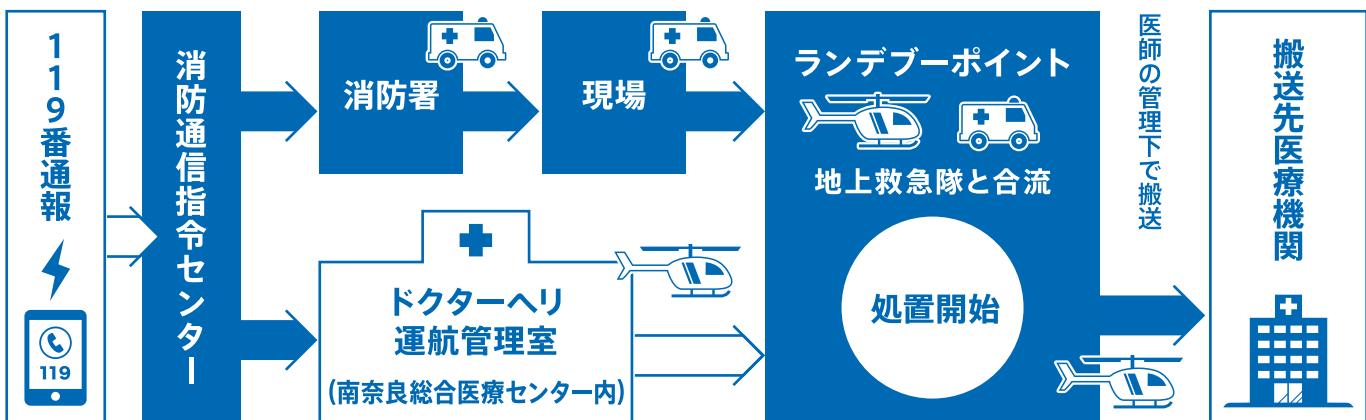
救急処置を必要とする患者さんに初期治療を行い、迅速に搬送する救急専用ヘリコプター



Point!
Doctor
Heli

運航の流れ

奈良県ドクターへリは、奈良県立医科大学附属病院を基地病院、南奈良総合医療センターを発進基地病院として平成29年3月21日に運航を開始しました。搭乗する医師及び看護師は普段は県内医療機関の救急部門で活躍しており、日々の臨床経験を活かし、1人でも多く救命できるように努めています。



Point!

Doctor
Heli

患者さんの声

35歳
男性

作業している
重機が横転して
受傷

Q 救急隊がドクターへリを要請した時、どう思いましたか？

A 山の上で怪我をしたので、ドクターへリなら早く処置を受けることができる、と安心しました。

Q ドクターへリに搭乗していた医師と看護師の処置の対応の印象はどうでしたか？

A すごく早く治療をしてくれて、ドクターへリに乗るまで、あっという間でした。

Q ドクターへリに乗った感じはどうでしたか？

A 入る時は狭いかな?と思いましたが、入ってみると中は広かったです。離陸時は、揺れをあまり感じませんでした。

Q 病院屋上のヘリポートに着陸した時はどうでしたか？

A 着陸時もあまり振動がなく、え?もう着いたの?とびっくりしました。ドクターへリから出た時、空が眩しかったのを覚えています。

Q 振り返ってドクターへリについてどう思いましたか？

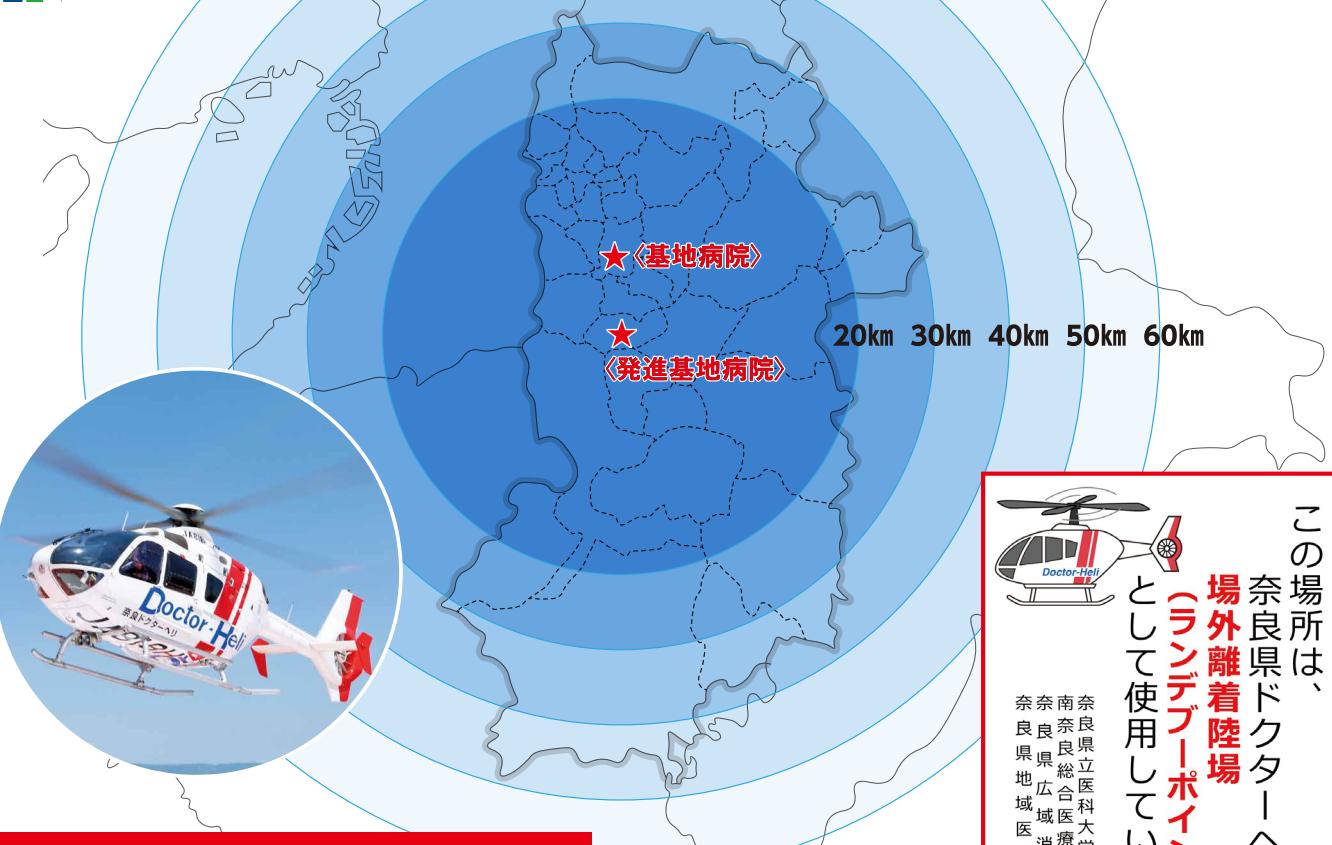
A 迅速な対応に感謝しています。ヘリの中でもずっと声をかけてくれたので、不安はありませんでした。

出動範囲と出動要請

奈良県ドクターへリは、奈良県内全域をカバーしています。県内であれば、片道約15分で目的地に到着することができます。高い迅速性を備えています。

原則、119番通報を受けた消防機関が患者さんの重症度等を判断してドクターへリの出動を要請します。

(一般の方が直接要請することはできません。)



到着に要する時間は
こんなにも違います!

事例 十津川(谷瀬の吊り橋付近)から要請

ドクターへリ使用の場合

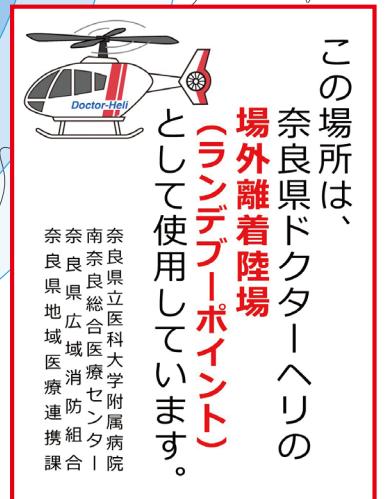
谷瀬の吊り橋付近(RP:十津川-3)まで

要請から**約15分**(処置開始)

さらに南奈良総合医療センターまで**約15分**

救急車使用の場合

要請から谷瀬の吊り橋到着。さらに南奈良総合医療センターまで**約90分**(治療開始)



ランデブーポイントの看板

近隣府県との連携

奈良県ドクターへリ運航開始後も、従来より行ってきた三重県、和歌山県、関西広域連合(大阪府)のドクターへリの利用は継続しています。これにより、奈良県ドクターへリが出動中に重複要請があつても、これらのドクターへリを利用できる体制を整えています。

Point!

Doctor
Heli

運航管理室の役割

ドクターへリの運航支援や消防機関との調整を行うとともに、飛行ルートなどを選定します。また、操縦士と気象・航空情報、トラフィック情報を共有し、出動要請に迅速に対応します。



ドクターへリチームの一日のスケジュール

当日事前準備	機体で資機材チェック 情報共有手段の無線チェック 医療物品、薬剤の準備 前日までの医療活動の情報共有
8:30	待機開始前 ブリーフィング(朝礼) ・体調チェック・天候確認 ・日没時刻の情報共有・運航上の注意事項 ・前日までの活動の情報共有・伝達事項 待機開始
	17:30 待機終了(日没まで) ブリーフィング(夕礼) ・活動の振り返り ・翌日のスタッフへの連絡事項の整理

※待機終了時刻は日没時刻により変動いたします

Point!

Doctor
Heli

ドクターへリの Q & A

知っておきたいドクターへリのこと!

Q

ドクターへリはどれくらい速いですか?

A

ドクターへリは時速約200km/hで飛行可能です。地形に関係なく最短ルートを飛行することで県内を約15分でカバー可能です。

Q

ドクターへリは24時間飛行できますか?

A

ドクターへリは8:30～日没までの運航です。夜間は運航できません。また、天候不良時にも運航はできません。

Q

どのような場合に出動するのですか?

A

ドクターへリは、消防機関に119番通報された内容から緊急度や重症度が高いと判断された場合にいち早く医療の介入を行うことを目的として出動します。また、迅速さを活かし、必要に応じ医療機関間の患者搬送を行います。

Q

ドクターへリはどこにでも着陸できますか?

A

ドクターへリはあらかじめ設定された着陸地点(ランデブーポイントと呼んでいます。左ページの立て看板が目印です。)に着陸します。ドクターへリは皆様のご協力のもとに安全で迅速な医療を実現しています。着陸の際には皆様のご協力をよろしくお願いします。

Q

ドクターへリを呼ぶことができますか?

A

一般の方がドクターへリを直接呼ぶことはできません。119番の通報内容により、消防機関がドクターへリの出動を要請します。

Q

ドクターへリを利用した場合には費用がかかりますか?

A

ドクターへリの利用のみでは費用は発生しません。ただし、ドクターへリ医療スタッフによって行われた医療行為に対しては、医療費が発生します。

Q

どのようなスタッフで運用されていますか?

A

奈良県ドクターへリは、奈良県立医科大学高度救命救急センター、南奈良総合医療センター、奈良県総合医療センターの医師、看護師がスタッフとして搭乗しています。また、ヘリの運航は学校法人ヒラタ学園が行っています。

Q

搬送先医療機関は決まっていますか?

A

ドクターへリによる搬送先は患者さんの容体・症状によりドクターへリ医療スタッフが決定します。搬送先医療機関の希望をお伺いすることはできません。

Interview! インタビュー

医師

宮崎 敬太



Q ドクターへリ出動時の様子を教えてください。

A ほとんど情報がないまま現場に到着すること多く、看護師、ヘリスタッフと活動内容を確認、共有しながら活動するように心がけています。

Q ドクターへリならではの強みは何ですか？

A 奈良県中の重症患者さんにいち早く接触できることと、奈良医大高度救命救急センターに県境あるいは県外からでも搬送が可能であることです。

Q ドクターへリならではの難しさはありますか？

A 奈良医大高度救命救急センターでは以前からドクターカーで病院前診療に取り組んでおり、病院前診療に関しては若い医師を含めて多くが経験しています。ドクターへリに関してはたくさんの情報をさらに短時間で処理する必要があり、そこがドクターカーでの診療との違いかと思っています。

Q 高度救命救急センターではどのような気持ちをもって業務されていますか？

A 唯一の高度救命救急センターとして、奈良県中の超重症病状は自分たちで対応する義務があると思っています。

Q 救命救急に携わる立場として、普段心がけていることはありますか？

A 僕らが生命の限界を決める立場ではないと思っているので、できる治療法がある限り治療を諦めないことです。



Interview! インタビュー

医師

木下 有紗



Q ドクターへリ出動時の様子を教えてください。

A できるだけ早く患者さんの元に行くために、走って機内に乗り込みます。現場まで数分で到着するので、限られた時間の中で想定しうる病気や怪我に対する治療の準備をします。

Q ドクターへリならではの強みは何ですか？

A 県内を15分程度で飛行可能なので、陸路では病院到着まで何時間も要する患者さんでも、数分で病院に搬送できることです。

Q ドクターへリならではの難しさはありますか？

A 機内は狭いため、搬送中に状態が悪化しないように全ての処置をヘリに運び入れる前に行っておくのが難しいです。

Q 高度救命救急センターとはどんな雰囲気ですか？

A 搬送されてくる患者さんは県内の最重症の方ばかりなので、緊張感をもって働いています。

Q 救命救急に携わる立場として、普段心がけていることはありますか？

A 患者さんが気づいていなくても、緊急を要することがあります。それに早く気づいて対処できるように心がけています。

Interview! インタビュー

看護師

山中 和美



Q ドクターへリ出動時の様子を教えてください。

A 少ない情報から、予測される病状や処置について医師と機内でブリーフィング(事前打ち合わせ)を行い、処置に必要な物品(点滴や気管内挿管など)の準備を行っています。

Q ドクターへリならではの強みは何ですか？

A 県内を15分程度で行くことができ、医師や看護師が現場に向かうことで、緊急性や重症度が高い患者さんに対し、早期に医療介入できます。また揺れが少なく、患者さんの負担が少くなります。

Q ドクターへリならではの難しさはありますか？

A 要請から接觸までの短い時間で適切な準備をし、現場では患者さんの状態に迅速に対応する観察力や判断力が求められます。また消防隊やパトロット、整備士などの多職種とスムーズに連携する必要があります。

Q 高度救命救急センターとはどんな組織ですか？

A 奈良県内唯一の高度救命救急センターであり、最後の砦として3次救急を担っています。スタッフ全員が緊張感とプライドを持って働いています。

Q 救命救急に携わる立場として、普段心がけていることはありますか？

A いつ要請があっても応えられるよう、体調管理には十分注意しています。

View!

Doctor
Heli

奈良県立医科大学附属病院 高度救命救急センター 奈良県ドクターへリ
エアバス式H135 (EC135)

NEIM
Doctor Heli



DATA

使用するヘリコプターは、様々な場所に着陸可能な小型機で、騒音が少ない機種を使用しています。ドクターへリ内には人工呼吸器や心電図モニター、電気除細動器や薬剤を微量注入できるシリンジポンプ、また心臓マッサージを行う救急用医療機器、医薬品等を搭載しており、さながら「空飛ぶ救急処置室」となっています。

最大航続距離 約640km 最大巡航速度 約250km/h
出動件数441件(令和2年度実績)



搭乗人数

フライドクター、フライナース、操縦士、整備士の**4名**
患者さんは、最大**2名**

患者家族の搭乗はフライドクターが必要と判断し、機長が了解した場合のみ可能です。関係する診療科の専門医、訓練中の医師及び看護師が搭乗する場合もあります。

